



臨床検査技師
下村 舞

糖負荷試験

そろそろ暖かい日が多くなり、過ごしやすい季節になってきましたね。
今回は糖負荷試験についてお話しします。

● 妊娠糖尿病になると

妊娠糖尿病になるとおなかの中の赤ちゃんも高血糖になりやすく、母体にも様々な影響があります。

流産や早産になる可能性が高くなり、妊娠高血圧症候群や羊水過多症などの妊娠合併症が起こりやすくなります。また、お母さんからおなかの赤ちゃんに送られる糖の量が過剰になるため巨大児が生まれやすく、難産になることもあります。そのため、妊娠糖尿病と診断された場合はきちんと治療することが重要です。

● 糖負荷試験とは

経口ブドウ糖負荷試験(75gGTT)とは妊娠糖尿病(GDM)の診断をする検査です。

当院では①巨大児(4000g以上) ②出産既往③羊水過多既往④現妊娠LFD(児の体重が標準より小さい場合)⑤肥満(BMI \geq 25)⑥高齢(35歳以上)⑦尿糖陽性(2回以上)の場合、この検査を行います。

ただし、妊娠糖尿病の可能性が高い妊婦さんは初期随時血糖が100mg/dl未満でも全例24~28週目にGTT検査を実施します。

《検査方法》

前日夜~検査当日の朝まで10時間以上絶食した空腹時の採血をし、血糖値を測ります。

次に検査用ジュース(75gのブドウ糖が入ったもの)を飲み、1時間後と2時間後に採血をし、血糖値を測るという検査です。

また、同時にHbA1cという過去2ヶ月間の平均血糖値をあらわす検査も行います。

※注意事項

- ・ジュースは炭酸が入っているため苦手な方は検査予約時にお知らせください。
 - ・9時以降に飲食された場合は当院では検査ができません。(口に含んだ場合も検査ができないことがあります)前日の夜は9時までに食事を済ませておきましょう。
- 検査中にジュースを吐いてしまった場合も検査中止になります。当日体調不良のときは予約の変更をお勧めします。

《この検査の結果》

空腹時血糖：92mg/dl以上

1時間値：180mg/dl以上

2時間値：153mg/dl以上

この中から1点以上をみたした

場合、妊娠糖尿病(GDM)と診断されます。

また空腹時血糖は126mg/dl以上

HbA1c6.5%以上は「明らかな糖尿病」と診断されます。



● ヘモグロビンA1c(HbA1c)とは

HbA1cとは、過去1ヶ月~2ヶ月の血液中の糖の状態を表すものです。血糖値は、あくまでも血液検査を行ったときの糖の状態を調べます。ですから、検査前の食事や時間に影響を受けないHbA1cはとても重要な検査のひとつです。

● 妊娠糖尿病(GDM)とは

妊娠するまで糖尿病ではなかった人が妊娠によってかかってしまう糖代謝異常のことです。

すでに糖尿病女性の妊娠(糖尿病合併妊娠)や、初めての妊娠検査時に診断された「明らかな糖尿病」とは全く別物です。